

# 魚津市公共交通活性化会議

平成22年2月5日設置

## 概要

魚津市内のバス路線は、現在、有償運行バスとして、民間会社が電鉄魚津駅から郊外地域へ運行しているものが2路線及び魚津市がJR魚津駅を起点とし市街地内をめぐり路線を1系統2路線とJR魚津駅から郊外地域をめぐり路線6路線を運行委託しているものがあります。

魚津市が運行している魚津市民バスは、道路運送法第79条の規定に基づき事業実施しています。このうち、市街地巡回ルートは民間事業者へ運行委託しており、郊外地域のルートは、地域を中心に組織したNPO法人にその運行を委託しています。また、郊外地域のルートは、税負担の公平性や市民協働の観点から、運賃収入と地元負担を併せて、運行委託費用の1/3(スクールバス対応地域は、19/72)以上の収入確保をお願いしています。

しかしながら、この市民バス運行形態による弊害や民間路線バスとの協調・運賃格差、交通空白域への対応、利便性の拡充、バス車両の老朽化等の課題も多く、加えて北陸新幹線(長野-金沢間)開業を考慮したまちづくりも求められており、公共交通のあり方について見直しを迫られています。



## ○地域公共交通の現況

- ・JR北陸本線(駅:魚津駅)
- ・富山地方鉄道(株)本線  
(駅:経田駅、新魚津駅、電鉄魚津駅、西魚津駅)
- ・富山地方鉄道(株)路線バス(路線数:2系統)
- ・魚津市民バス(路線数:7系統8路線) など

## ○地域公共交通の課題

- ・サービス(料金・運行)格差の是正
- ・NPO法人の後継者問題解決と運行安全管理の徹底
- ・市民ニーズへの対応
- ・公共交通の運行効率化
- ・鉄道との乗継利便性の向上
- ・低下する公共交通に対する市民意識の改善
- ・利用しにくいバス利用環境の改善 など

## ○調査の主な内容

- ・乗継拠点の問題点及びニーズ把握調査
- ・社会実験計画の検討調査 など

## ○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・市民バス運行の見直し ・民間路線バスの見直し
- ・情報提供、市民意識の啓発
- ・交通空白地域への新たな市民バス運行
- ・鉄道駅周辺のパークアンドライド駐車場等の整備 など

